

WEEKLY REPORT

No.923



国際ロータリー第2530地区 郡山アーバンロータリークラブ

国際ロータリー第2530地区ガバナー 佐久間 英一
会長 宮崎 登志行
幹事 采女 真弓



人類に奉仕するロータリー



第13回例会 H.28.10.12 水 ☀

- ▶開会点鐘 ▶国歌斉唱 ▶ロータリー歌斉唱「奉仕の理想」
- ▶ロータリーの目的・四つのテスト唱和 蔭山寿一さん
- ▶ゲスト紹介 采女真弓さん <ゲスト> 石黒秀司 地区米山記念奨学会副委員長 (郡山RC)

会長挨拶

宮崎登志行 会長

先月7日以来の久々の通常例会です。先日の4RC合同猪苗代湖水草除去作業に小林委員長、味戸さん、石堂さん、渡部宏夫さん、私の5名が参加しました。開会式までは曇りでしたが、いざ作業を始めようという時に雨が降り出し、土砂降りの中で一時間作業をしてまいりました。毎年続けて行う地道な作業ですが、恩恵を受けている郡山市民として大切な事業であると思います。

「ロータリーの友」掲載記事のご案内

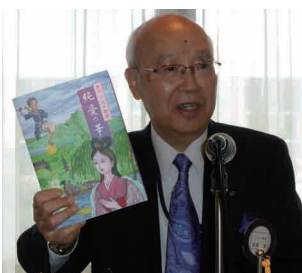
白岩邦俊 前年度ロータリー財団委員長

今月の「ロータリーの友」46ページに「台湾のクラブと協同で山間部に貯水タンクを設置」として、昨年度ロータリー財団委員長として投稿した記事が載っておりますのでぜひお読みください。



長尾 勉さん

私事で恐縮ですが、創作うねめ物語として「純愛の華」を発行いたしました。各書店へ配本したり、商工会議所で大量にお買い上げいただきまして、私の手元にはありませんので、ご希望の方はみどり書房とジュンク堂でお買い上げよろしくお祈いします。



スマイルBOX報告

佐藤洋子委員長

- ☺石黒 秀司 ▶本日はよろしくお祈いいたします。米山特別寄付へのたくさんのご寄付をぜひぜひよろしくお祈いいたします。
- ☺宮崎登志行 ▶石黒副委員長ようこそ本日はよろしくお祈いいたします。
- ☺味戸誠一郎 ▶サンルート隣地に建築していた新館が10月1日にオープンしました。240名収容の宴会場と客室22部屋を増設しました。よろしくお祈いします。
- ☺鈴木かおる ▶石黒様、米山と共にローターアクトもよろしくお祈いいたします。
- ☺蔭山 寿一 ▶石黒さん、ようこそ。
- ☺岩山 慎一 ▶秋たけなわです。お元気にお過ごしなさいますように!
- ☺高橋 功 ☺佐藤功一 ☺宮澤キヨ子 ☺橋本弘幸
- ☺宗形千鶴 ☺采女真弓 ☺佐藤 洋子

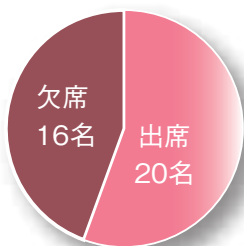
幹事報告

采女真弓 幹事

- (1) 11月のプログラムが承認されました。
- (2) 「ロータリーの友」10月号と「米山豆辞典」を配布しました。

出席報告

宮澤キヨ子副委員長



総員	36名
出席率	55.56%
前回修正率	100%

10月の誕生日祝

長尾 勉 親睦活動委員会副委員長

バースデーカードをお渡しいたします。
誕生日にお花が届きます。

増子ふみえさん(10/1)
渡邊万里子さん(10/11)
佐藤洋子さん(10/19)
鉄地川原正顕さん(10/23)





プログラム／ゲスト卓話

■ゲスト紹介 白岩邦俊 米山記念奨学会委員長

地区米山記念奨学会副委員長の石黒秀司さんに卓話をお願いいたしました。ロータリー米山記念奨学事業についてわかりやすくお話していただきたいと思えます。

「米山記念奨学会について」

地区米山記念奨学会副委員長 石黒秀司様

地区の小委員会で藤田さんと一緒に活動させていただいており、先日の米山梅吉記念館見学のバスの中でのアトラクションでは、米山関連の質問を藤田さんと私が担当しました。ロータリーには「民間最大規模」



とか「世界最大規模」の事業がたくさんあり、米山記念奨学会も民間最大規模の奨学金制度です。ロータリー財団の奨学生は4、5年前までは国際親善奨学生として一律に27000ドルを支給しておりました。現在はシステムが少し変わっておりますが、これも世界最大規模の奨学金制度です。米山記念奨学事業は、2016年度の採用学生数は750名で、事業費は12億5747万円です。

これまでの奨学生は19197名で、全国34地区のうち2530地区の累計は284名です。ほとんどは寄付で賄われており、奨学生の採用人数は寄付額で決められますので、ぜひ寄付をお願いしたいということです。ロータリー財団の奨学生も米山の奨学生も、対象は国費留学ではなく私費留学生に対する民間奨学金で、返済義務がありません。各クラブの例会や奉仕事業に参加することで文化交流などもでき、ロータリーならではの触れ合いができます。学校関係者からは、学生にとっても学校にとっても、最高のシステムであると聞いています。日本から海外に行く学生を増やすとともに、海外から日本への留学を積極的に推奨しようという事業が進められているようですが、米山記念事業は50年以上も前から、ロータリアンの貴重な財源を元に、海外留学生に対して支援を実施しています。

米山豆辞典によくまとめられており、5・6ページには事業についての解説があります。運営主体は公益財団法人ロータリー米山記念奨学会で、これまで一貫して日本で学ぶ外国人留学生を対象としており、最大の特徴は世話クラブとカウンセラー制度です。ロータリーの活動に参加し、交流を大切にし、奨学金は手渡しすることを基本にしていますので、学生は例会に出席してメンバーと交流します。私は一昨年に中国の四川省からの福島大学理工学部の学生のカウンセラーをしました。自分の子供に年齢が近く、日本のお父さんとして接しました。中国では反日教育をしていると聞いておりますが、彼は非常に素直で優秀で、ロボットコンテストで日本一になりました。東京大学大学院に進学しましたが、今も交流があります。

米山奨学会のモデルとなった事業はアメリカのフルブライト奨学金で、1945年に世界平和を達成するために、人と人との交流がもっとも有効であるという強い信念のもとに、上院議員が議会で提案した教育交流事業だそうです。日本人も約6400人がこの奨学金を受けており、米国から全世界に留学する学生にも奨学金を出しているそうです。米山さんが亡くなった後に、その功績を偲ぼうと東京RCが1952年に米山基金として始め、二度と戦争の悲劇を繰り返さず、平和な日本を肌で感じてもらいたいとして、34の全地区で事業を行っています。

豆辞典15ページに国別構成があり、中国40%、韓国15.2%、ベトナム12.5%、累計では中国、韓国、台湾となっています。昨年度の選考会では、中国はもちろん多いのですが、ベトナムやモンゴルが多いと感じました。日本に来ている留学生の90%以上がアジア系で、50%以上が中国ですので、どうしても中国人が多くなります。最近是指定校を決めて、推薦された学生を選考することになっています。4月頃にアンケート調査し、私費留学生のいる学校を指定校にします。2530地区では福島大学、福島県立医大、日大工学部、会津大学、東日本国際大学が指定校となっています。奥羽大学や郡山女子大学、福島学院大学などには私費留学生がいないことから指定校にはなっていません。郡山ビジネス情報公務員専門学校は地区奨励校となっています。支給額は大学院生が1か月14万円、学部生が10万円、地区奨励校生が7万円です。12月11日に選考会を予定しておりますが、国とのバランスを考えて優秀な学生を推薦して欲しいと言っております。

OB・OGが17・18ページに出ています。学友にはいろいろな方々がいて、中国での暴動の時に日本人をかくまった学友もいます。昨年度にチンタカさんが中心となってスリランカに学友会ができ、全世界に7つの学友会があります。台湾学友会では台湾に留学した日本の学生に奨学金を出すという双方向性の支援活動をしています。管理費は利子収入で賄われていて5%程度で、皆様の寄付はほとんどが事業費となります。奨学生の採用人数は2004年に千名を超えましたが、現在は700台です。基本的には寄付総額によって変わります。毎年ガバナーが普通寄付5千円、特別寄付1万円の目標を掲げております。地区平均寄付額は普通・特別寄付合計で12410円でした。地区の今年度採用人数は16名、来年度は15名です。寄付額が増えているのに採用人数が減りました。全国的平均寄付額に追いつけなかったことが原因のようです。12月の選考会では、5名が継続ですので、10名を選びます。世話クラブにぜひ手を挙げていただきたいと思えます。

ロータリー財団寄付者

■味戸誠一郎 ■橋本 弘幸 ■高橋 功
■佐藤 洋子 ■宮崎登志行

米山記念奨学会寄付者

■味戸誠一郎 ■津野 順子 ■高橋 功
■白岩 邦俊 ■宮崎登志行 ■橋本弘幸
■佐藤 洋子

ポリオ寄付者

■鈴木かおる ■蔭山 寿一 ■宮崎登志行
■橋本 弘幸 ■宮澤キヨ子